



24年度 第6号  
通巻1804号

発行所:  
高知県教職員組合  
〒780-0850  
高知市丸ノ内2-1-10  
TEL088-822-4135  
FAX088-823-2355

全教職員  
配布  
読んでね

県教組HPは

↓こちらから



# 国人勧発表! 平均月1万円超の引上げなど

8月8日(木)、人事院は国家公務員の給与や処遇に関する「人事院勧告」(以下、国人勧)を発表しました。大卒初任給で2万3800円引き上げること

を初め、再任用の方も含む全世代に渡り給与月額を引き上げることやボーナスを年

間0.1月分引き上げることなど、的の内容(国人勧の一覧参照)も含めて再任用

制度が始まった頃から要望していた、へき地手当など再任用者への

支給も前進しそうです。これらは、24春闘期に民間労組支援や各種署名活動、中央省庁への要請行動を展開した大きな成果です。

ただ、これらの内容があくまでも国人勧であり、国家公務員の処遇についての勧告です。これらの内容がそのまま高知県の地方公務員に適用されるわけではありませ

ません。10月中旬にも発表されることも予想される、高知給与月額(約4.4%)は、問題点もありま

す。もちろん国人勧に「頑張った人にプラスされる部分」ですが、支給する人の割合が拡大されます。

★これからの運動  
9月・人事委交渉  
10月・県人勧発表・要求署名  
11月・県教委交渉

は、物価上昇(5%超)に追いついていません。つまり、実質賃金は下がることになりま

す。また、配偶者の扶養手当がなくなりま

す(左・図表8参照)。ボーナスの勤勉手当部分の成績率(II格差)が拡大されま

す。また、配偶者の扶養手当がなくなりま

民間給与の状況を反映して、約30年ぶりとなる高水準のベースアップ【月例給】官民較差:11,183円(2.76%)を用いて引上げ改定【ボーナス】0.10月分引上げ(年間:4.50月→4.60月)

## 本年の給与勧告のポイント①

【給与制度のアップデート】現下の人事管理上の重点課題に対応し、時代の要請に即した給与制度に転換

①若年層給与水準の競争力向上、②職務・職責重視の処遇、③能力・実績の適切な反映、④地域の民間給与水準反映、⑤採用・異動をめぐるニーズへの対応、⑥環境変化への対応という6つの観点から、俸給及び地域手当・通勤手当・ボーナス等の諸手当にわたり包括的に給与制度を整備

※官民較差はいわゆる「ベア」に相当。モデル試算した定期昇給分を加えると、月収で約4.4%の給与改善。官民較差の額11,183円は、1991年の11,244円以来、33年ぶりの水準。官民較差の率2.76%は、1992年の2.87%以来、32年ぶりの水準

### ◆通勤手当の引上げ・支給要件拡大等

- ・通勤手当の月額額を大きく引上げ  
支給限度額を15万円に引上げ  
新幹線等の特別料金も支給限度額の範囲内で全額支給
- ・通勤手当・単身赴任手当の支給要件を拡大  
採用時から新幹線等に係る通勤手当や単身赴任手当の支給を可能に

### ◆再任用された職員への手当支給の拡大

- ・定年前再任用短時間勤務職員及び暫定再任用職員に異動の円滑化に資する手当を新たに支給  
地域手当の異動保障等、研究員調整手当、住居手当、特地勤務手当(準ずる手当含む)、寒冷地手当  
※地域手当の異動保障、特地勤務手当に準ずる手当は2025年4月以降の異動者に適用
- ・各手当の支給額は一般の職員と同様

### ◆民間労働法制の内容も踏まえ、子の年齢に応じた柔軟な働き方を表現するための措置を拡充

- ・1年につき10日相当、1日の上限時間数なく育児時間を取得できるパターンを選択可能に
- ・非常勤職員の育児時間について、対象となる子の範囲を小学校就学前の子に拡大

図表8 扶養手当

現行(2024年度)		2025年度	2026年度以降	
配偶者	行(-) 7級以下	6,500円	3,000円	廃止
	行(-) 8級	3,500円	廃止	-
子(1人あたり)		10,000円	11,500円	13,000円

※上記以外の扶養親族にかかる扶養手当は変更なし

### ▼扶養手当「見直し」の例(一般職員の現行と「見直し」後)

- ①配偶者のみ 6,500円→なし
- ②配偶者+子1 16,500円→13,000円
- ③配偶者+子2 26,500円→26,000円
- ④配偶者+子3 36,500円→39,000円
- ⑤配偶者+子1+親1 23,000円→19,500円

文科省が、教職調整額を4%から13%に引き上げたという内容で25年度政府予算の概算要求を行いました。新聞の見出しには「残業代3倍」等の言葉が踊っています▼財務省は、すでに「一律の引上げは適当ではない」と否定的な主張をしています。25年度の予算案が決まるまでにやりとりを繰り返し、妥協点が探られるでしょう▼今までも、教職員定数を増やしたいと文科省が要求しても財務省が削り、最終的に教職員定数は減らされ続けた歴史も。今回は、さてどうなるのか▼そもそも、何%かが問題なのではなく、残業代も出さずに働かせ続けることが出来る制度が問題。今回の改善が実現すれば、それこそ「金額が増えたのだから文句言わず働け」と強要されるのは必至▼根本を改めず「朝三暮四」で誤魔化す。後は現場の「意識改革」と「努力」の強要。こんな行政にだまされな

## お城下

文科省が、教職調整額を4%から13%に引き上げたという内容で25年度政府予算の概算要求を行いました。新聞の見出しには「残業代3倍」等の言葉が踊っています▼財務省は、すでに「一律の引上げは適当ではない」と否定的な主張をしています。25年度の予算案が決まるまでにやりとりを繰り返し、妥協点が探られるでしょう▼今までも、教職員定数を増やしたいと文科省が要求しても財務省が削り、最終的に教職員定数は減らされ続けた歴史も。今回は、さてどうなるのか▼そもそも、何%かが問題なのではなく、残業代も出さずに働かせ続けることが出来る制度が問題。今回の改善が実現すれば、それこそ「金額が増えたのだから文句言わず働け」と強要されるのは必至▼根本を改めず「朝三暮四」で誤魔化す。後は現場の「意識改革」と「努力」の強要。こんな行政にだまされな



本年8月16日から18日までの三日間、大阪市内を会場に「みんなで21世紀の未来をひらく教育のつどい」(教育研究全国集会2024 in大阪、以下、24つどい)が開かれました。延べ4000人以上が参加。高知県からも、全体会・フォーラムへのオンライン参加も含めて32名が参加しました。16日の全体会(写真左)やフォーラム、そして17日から二日間にわたる18の分科会での討論など、今の学校現場の問題点を浮き彫りにすると共に解決への実践のヒントを学び合いました。

# 教育のつどい2024 in大阪

## 高知県から32名参加

### 教育のつどい2024 アピール

#### 憲法と子どもの権利条約がいきで輝く教育と社会を確立しよう

教育のつどい2024は、8月16日から3日間、大阪市内で開催され、開会全体集会和5つの教育フォーラム、18の分科会に、オンライン参加を含め、のべ4000人を超える保護者、市民、学生、教職員の参加で大きく成功しました。全国各地から参加されたみなさん、ご審判いただいた現地実行委員会のみなさん、開会全体集会场・大阪市中央公会堂をはじめ、教育フォーラム・分科会会場のみなさんなど、すべての方々のご協力・ご尽力に心から感謝と敬意を表します。

#### 子どもの意見を聴き、子どもの最善の利益を第一に、子どもの可能性を信じること

開会全体集会上は会場とオンラインを合わせて1500人の参加がありました。現地実行委員長・奥野喜久夫さんが、万博と学校統廃合など地域・教育こわしが一段とすすんでいる大阪で教育のつどいがひらかれ、すべての子どもにかかわる人々がひとつになって、子どもの個性と夢と権利を守るために語り合おうと呼びかけ、教育のつどい2024 in大阪が始まりました。講演をおこなった映画「教育と愛国」監督で毎日放送の斉加尚代さんは、地元・大阪の教育現場を見つめてきて、子どもたちや先生たちが苦しんでいる背景に政治圧力があると感じ、特に加害の歴史を改ざんし愛国心や歪んだ道徳観を押しつける動きを明らかにしようと、この映画をつくりました。映画では、教育は誰のためにあるのか、何のためにあるのか、を深く考え、実践する教員やそれに応える子どもたちの様子が語られました。「人間的なかわり、人格的なふれ合い、対話がますます大事になってくる」という結びのことが参加者に深く受け止められました。

教育フォーラムでは、子どもたちの声を聴き受け止めるにはどうあればよいか、「教育DX」の光と影、ジェンダー平等の実現や多様な子どもたちの学びや成長・発達保障、元イスラエル兵士や高校生・大学生の発言で若者と平和を考える、大阪の競争主義的教育や「高校つぶし」の実態とそれに対する教職員や保護者、学生さんたちのとりくみなど、オンラインを含め約720人が参加し交流と討論がおこなわれました。

分科会では、コロナ禍を経て学校生活や授業をコロナ禍前に戻すのか、コロナ禍でおこなったことを続けていくのか模索の様子がリアルに語られました。特に、コロナ禍の下で広がったオンライン活用や「1人1台端末」の押しつけなどがいっそうすすんでいることが明らかにされ、国がすすめる「教育のICT化」「教育DX」と対峙するとりくみについて討論が深められました。その中で、これまでずっと大事にしてきた体験や実験・実習、五感を活かせる学習活動が子どもたちに新鮮で喜びをもって受け止められている実践などが豊かに報告されました。

改訂学習指導要領・幼稚園教育要領が、学校・園の現場で子どもたちにどのような影響が出ているか実態が交流され、批判的な分析・検討をおこなうとともに、子どもたちの実態に即した実践が多く報告されました。その中で奈良教育大学附属小学校から、民主的・自主的教育課程づくり・学校づくりについて報告されると同時に、いま学校にかけられている文科省や教育委員会、大学などからの介入・攻撃の実態が明らかにされ、子どもたちや教職員、保護者、地域のみなさんが当事者として力を合わせて立ち向かっていることが大きな共感を呼びました。

登校拒否・不登校が義務教育段階で過去最多の30万人に達しようとする中で、学校生活や学習活動に対応できない子どもや特別な支援を必要とする子どもたち、日本語を母語としない家庭や子どもの生きづらさ・生きにくさが課題となっています。子ども理解をどう深めるか、その困難さも含めて多くの分科会・教育フォーラムで報告されました。レポートではいずれも、一人ひとりの子どもに寄り添う実践がていねいに報告されています。

他にも、子どもの成長と発達を信じ、一人ひとりに寄り添うていねいな実践が数多く報告され、「教育のつどい」が積み上げてきた日本の民主教育が脈々と流れていることがわかります。

#### 集まり、語り合うことで、あらためて感じる「教育のつどい」の大切さ

いま、競争や管理で子どもをしばる学校、異常な長時間過密労働で教職員を苦しめる学校など、このままでは子どもたちも教職員もこわれてしまうと感じるものが少なくありません。学校や社会を変えるには大きな力が必要ですが、一人で頑張るのではなく、なかまを増やして、みんなで立ち上がることで、変化を起こすことができます。

昨年引き続き完全対面で「教育のつどい」を行い、顔を合わせて語り合うことで温かさや新たな気づきを得ることがいっそうできました。ここで得た学びや励まし、勇気、活力など、たくさんのお土産を持ち帰り、学校で、家庭で、地域で、ともにがんばっていきましょう。

#### 子どもたちを主人公にした学校・社会を、子どもたちといっしょにつくっていきましょう

レポートでは、「子どもの権利条約」をいかに校則改正やルールづくりなど、当事者としての子どもたちの意見にもついた実践が多く報告されました。子どもの声を聴き、いかに実践をすすめることが大切ですが、ジェンダー平等を考える実践や性教育、高校生のとりくみ、大学生のレポートなど多様な報告がありました。岡山の高校生がとりくんだ「生理革命起こします!」は大きな可能性を感じさせる報告でした。さらに、一人ひとりの障害特性を理解し寄り添う実践報告も多く見られました。

いまこそ憲法と子どもの権利条約を守りいかにとりくみを、子どもの豊かな成長・発達を保障するさまざまな運動や願いと結び、職場や地域から声を上げさらに広げていきましょう。

2024年8月18日 みんなで21世紀の未来をひらく教育のつどい 教育研究全国集会2024 実行委員会

【ある参加者の分科会の感想】今回平和学習として太平洋核被爆の授業を報告。高校生たちが声をあげて学校を動かす取

り組みや男子校でのエンターテインメントなどエネルギーが溢れる環境、

平和を関わりながら実践を創っていき。視点は学びました。私達は日々、子ども

に語り掛け共に行うこともできる。それは大きな責任であることにも気づかされた。感

# 8月27日、中教審答申発表 現場課題の解決には疑問!

教育通信6月号外  
で、お知らせと解説  
をしていた中央教育  
審議会の答申が正式  
に8月27日に行われ  
ました。

5月13日に、中間  
的な「審議のまとめ」  
が発表された後のパ  
ブリックコメントに  
は、わずか2週間あ  
まりで1万8354  
件も寄せられていま  
す。7月26日の中教  
審特別部会の資料か  
ら推測すると、その  
大半は、教職員定数  
の抜本的な増員を求  
める意見や、定額働  
かせ放題といわれる  
教職調整額の引き上  
げではなく、残業代支  
給を求める意見など、

「審議のまとめ」の  
内容では長時間過密  
労働などの現場の課  
題解消にはつながら  
ないことを指摘する  
ものであったよう  
です。しかし、そうし  
たパブリックコメン  
トに込められた願い  
を無視する形で、基  
本的な部分は修正さ  
れずに、そのまま答  
申が出されました。

その問題点をまと  
めれば、次のように  
なります。  
①教職員定数を改善  
しないこと。だから、  
一人ひとりの業務量  
は改善されません。  
答申の中で書かれて  
いる「月20時間程度」  
(この20時間も問題

ですが)の残業を実  
現させるには、意識  
改革や現場の努力で  
はなく、人を増やさ  
ない限り実現は不可  
能です。

②定額働かせ放題と  
いわれる教職調整額  
支給の制度はそのま  
ま。だから、長時間  
労働の抑制・防止に  
はなりません。また、  
残業代を民間同様に  
支給すれば月に十数  
万円になるものを、  
2万円ちよつとの引  
上げで我慢を強いる  
こととなります。  
③新たな職を作り、  
ますます管理体制を  
強化すること。  
これでは、学校現  
場が改善されるはず

## ★みなさんへのお知らせ★

TEL088・822・4135

全教共済の、生命・医療・傷害共済の新規募集を特別に行う秋募集のご案内を今月末から10月初めにかけて、学校現場にお届けします。ぜひそのパンフレットを読んでご検討ください。なお、地震や台風への備えも充実の「おうちの共済」(今回、パンフレット同送)や、月々600円の総合共済、教職員のための自動車保険などは随時募集中です。  
\*希望される方には、説明にもお伺いします。お電話ください。

がありません。  
教育通信6月号で  
指摘したとおり、財  
務省は教職調整額の  
引き上げの財源は、  
新たに増額するので  
はなく、今の教育予  
算の枠の中で行うよ  
う検討することも求  
めています。  
教職調整額引き上  
げの給特法「改正」  
は25年1月開催の通  
常国会に提出予定。  
表面を取り繕うかの  
ようなこの答申内容  
の実現ではなく、抜  
本的な改善を求める  
運動はこれからが正  
念場です。

## ダンス学習会 実施!

8月6日(火)、  
江陽小学校を会場に  
ダンス学習会が行わ  
れました。実行委員  
会を中心に、様々な  
ダンスを学習しまし  
た。秋の運動会・体  
育祭が少なくなる中、  
一般参加者は少なく  
なっていますが、参  
加者は元気に学びま  
した。



## 11月2・3日(土・日) 語ろう学ぼう 2024教育のつどい (第74次高知県教育研究集会)

### \*場所

- ①分科会(2日・課題別 3日・教科別)  
安芸市立土居小学校
- ②全体会(2日午後3時~)  
安芸市女性の家  
講演・増山均さん  
「子どもの声を聴き・受けとめられる学校に  
子どもの権利条約批准30年にあたって」

### ★参加費無料

みなさん、参加してみませんか。

詳細は、今回同送の一次案内をご覧ください。

教職員のための自動車保険は



## 全教自動車保険

教職員と家族を守って34年

WEBでかんたん  
見積依頼



右のQRコードから見積り依頼を⇒

お問合せは代理店ケンキョーまで ☎ 0120-459-813

高知県内を流れる1・2級河川⑥

1		2	3	4	5
		6			
7				8	
		9			
10	11				
12			13		

【タテのカギ】

- 1. ギリシヤ神話に出てくる半人半獣の種族
- 2. エビの一種。巨大なハサミがある。
- 3. くつつきワードやね〇〇、お〇〇い、〇〇きど
- 4. 国家公務員のI種合格ではない人

【ヨコのカギ】

- 5. 空を飛ぶ道具
- 11. 釣った魚を入れます
- 1. 今年は9月16日。
- 6. ビリーバンパンの名曲「♪君は覚えているかしら、あの白い〇〇〇〇」
- 7. 数え方は、「一竿、二竿」の家具

かぎを解いて二重

枠に入る3文字で、高知県内を流れる1・2級河川の名前(〇〇〇川、解答には川をつけてね)を作って下さい。①解答②郵便番号・住所③氏名(匿名希望の方はペンネーム可、ただし本名は忘れずにお書きください)④職場名

【7月号の当選者】

「なはり川(奈半利川)」でした。抽選の結果、次の3名が当選されました。おめでとうございました。  
 ミント部休部中さん(若草特支)  
 めぐさん(幡多農業)  
 ドサイドンさん(高知工業)

【みなさんの声より】

〇4月に赴任した本校には、プールのすぐそばにピオトープがあり、生活科で春や夏を探しに出掛けたり、長休みや放課後に遊びに行ったり、身近な憩いの場となっています。中心にある池には睡蓮が花開き、小川にはメダカの群れ。池の底を優雅に歩くイモリに、「トカゲ！」と歓喜したり、水草の間からひよっこり顔を出すトノサマガエルに、「でかつ！初めて見た！」と大興奮したり、周囲に広がる草原を飛び交う蝶やトンボと追いかけてごっこを楽しんだり。自然を満喫する無邪気な子ども達の姿に、緑と水辺が育む生態系の豊かさを感じながら、教室では味わえない長閑なひとときを楽しんでいます。

これは、教員の手が少くないというのには無理ないです。

〇夏休みに入りました。採用試験の二次の準備をする人や、各分掌の会をする人、それぞれが教室等にてんでに分かれ過ぎています。  
 〇今年暑さのせい、スイカの育ちが今ひとつ。なのに、二つも何者かに食べられて、ようやく一つを収穫して、子ども達と食べました。食べられてしまった二つは、本当に上手に食べていたから、まあ無駄にならずに誰かの栄養になったかと思つてよしとしました。

〇研修や会議、大会等が入っていたためにゆっくり休むまもなく2学期に突入する学校もあるが、先生方が無理をしすぎないように、管理職は気を配ってほしい。

〇体育館がとて暑く生徒が倒れてしまった。先生方がどれだけ良い話をして聞いてくれないので終業式は教室でのリモートになりました。9月の始業式も教室でのリモートにしてもいいです。  
 〇熱中症警戒アラートの日々、運動会等の行事が心配。  
 〇娘家族が帰ってくるのに合わせ、閉庁期間に夏期休暇を取り、家に。毎夜のおいしいお酒で、体重が増加(+)。また、自然体験教室での天体観測、教え子の結婚式などいっしょに盛りだくさんで、充実した夏休みに。



メールはこちら